

BRICS 拡大、世界人口の半分、GDP41%に

ベン・ノートン

G/E 2024 年 12 月 25 日

BRICS は、ドル支配からの脱却と国際通貨・金融システムの変革を目指す、グローバル・サウス主導の経済協力フォーラムであり、その影響力を拡大し続けている。2024 年に 4 カ国を新たに加盟させた BRICS は、2025 年 1 月 1 日、新たに 9 カ国をパートナー国として正式に迎える。以下の 9 カ国である。

ベラルーシ、ボリビア、キューバ、インドネシア、カザフスタン、マレーシア、タイ、ウガンダ、ウズベキスタン

(注) このうちインドネシアは 2023 年のサミットできまっていた加盟国への招待を正式に受け入れると発表（1 月 6 日）、10 番目の加盟国となった。

10 の加盟国と 89 つのパートナーで構成される BRICS は、現在、世界人口のおよそ半分以上を占め、世界 GDP（購買力平価）の 41%以上を占めている。

同グループは、石油、ガス、穀物、食肉、鉱物といった主要商品のトップ生産者を含む経済大国である。

2024 年 10 月にロシアのカザンで開催された BRICS サミットでは、13 カ国が BRICS パートナーに招待された。このうち 9 カ国が招待を受け入れた。残りの 4 カ国（アルジェリア、ナイジェリア、トルコ、ベトナム）は、2024 年末時点で正式な返事をしていない。2024 年の議長国ロシア政府は、12 月に 9 カ国の新パートナーを発表した際、「近い将来、他の 4 つからも回答があることを期待している」と強調した。

9 つの加盟国と 9 つのパートナー

BRICS は当初はブラジル、ロシア、インド、中国による BRICs として 2009 年に発足、2010 年に南アフリカが加わり、5 カ国となった。

南アフリカのヨハネスブルグで開催された 2023 年サミットで、BRICS は再び拡大し、さらに 6 カ国（アルゼンチン、エジプト、エチオピア、イラン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦）を招待した。このうちエジプト、エチオピア、イラン、アラブ首長国連邦は招待を受け入れ、2024 年 1 月に正式に BRICS 加盟国となった。

サウジアラビアは 2024 年末の時点でまだ正式決定していない。アルゼンチンは、アルベルト・フェルナンデス大統領とクリスティーナ・フェルナンデス・デ・キルチネル副大統領が率いる中道左派政権が発足した当初は加盟に同意していたが、極右のハビエル・ミレイ親米政権が決定を覆し、加盟を阻止した。



ロシアのカザンで開催された 2024 年 BRICS サミットに参加した 9 カ国の代表者たち

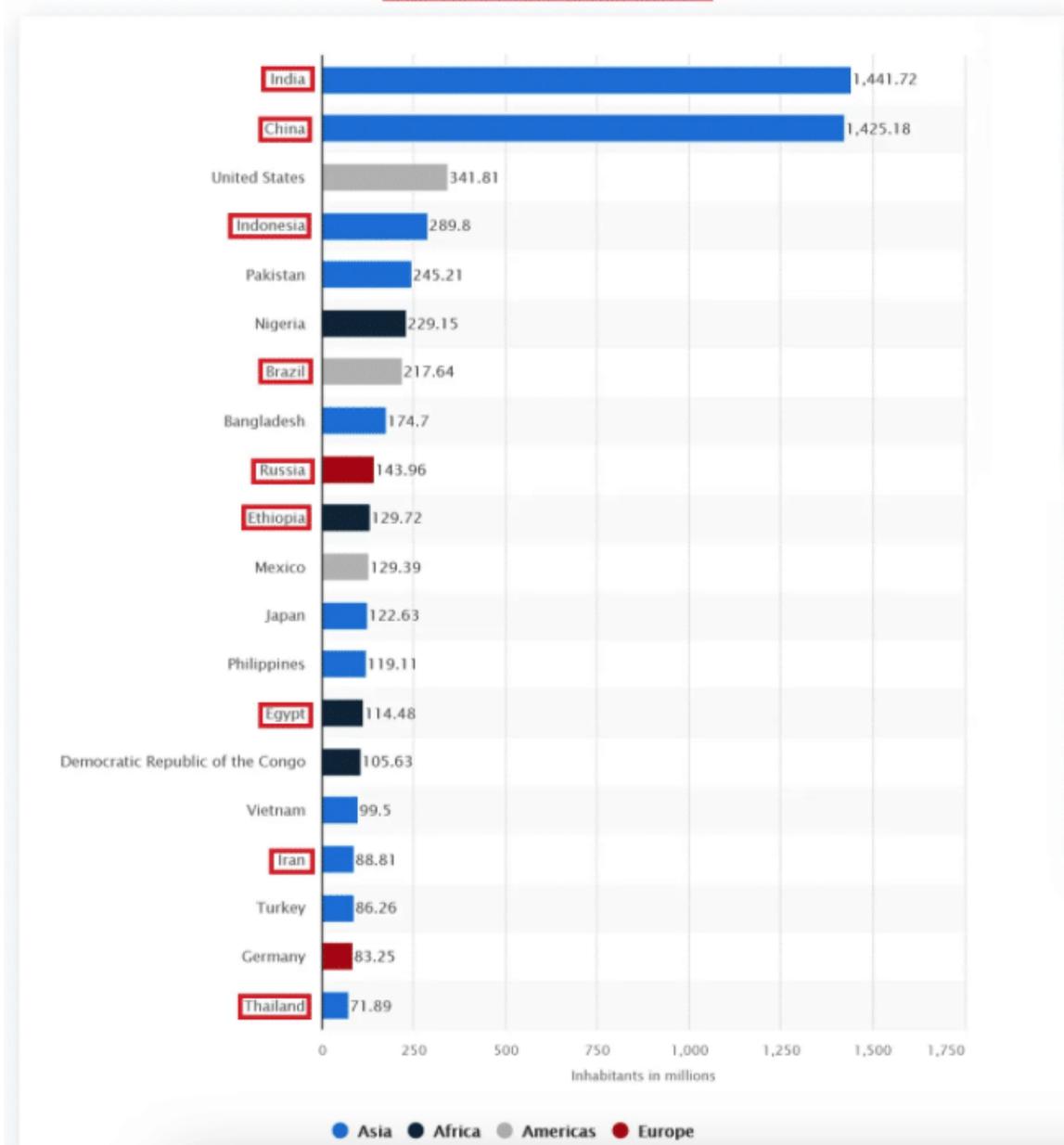
BRICS は世界人口の約半数

パートナー国が加わったことで、地球上で最も人口の多い 20 カ国のうち 9 カ国が BRICS に加盟した。その合計人口は約 40 億人で、世界人口のおよそ半分にあたる。

Twenty countries with the largest population in 2024

(in millions)

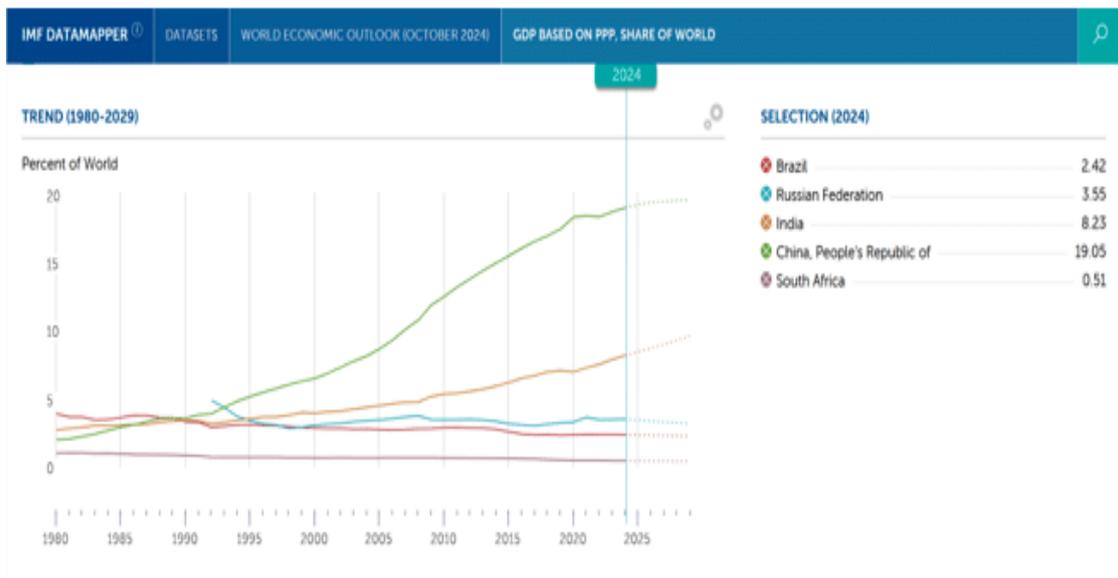
BRICS countries



BRICS は世界の GDP（購買力平価）の 41%

加盟 9 カ国とパートナー 9 カ国を合わせると、世界の GDP の 41%以上を占める（購買力平価で測定した場合）。

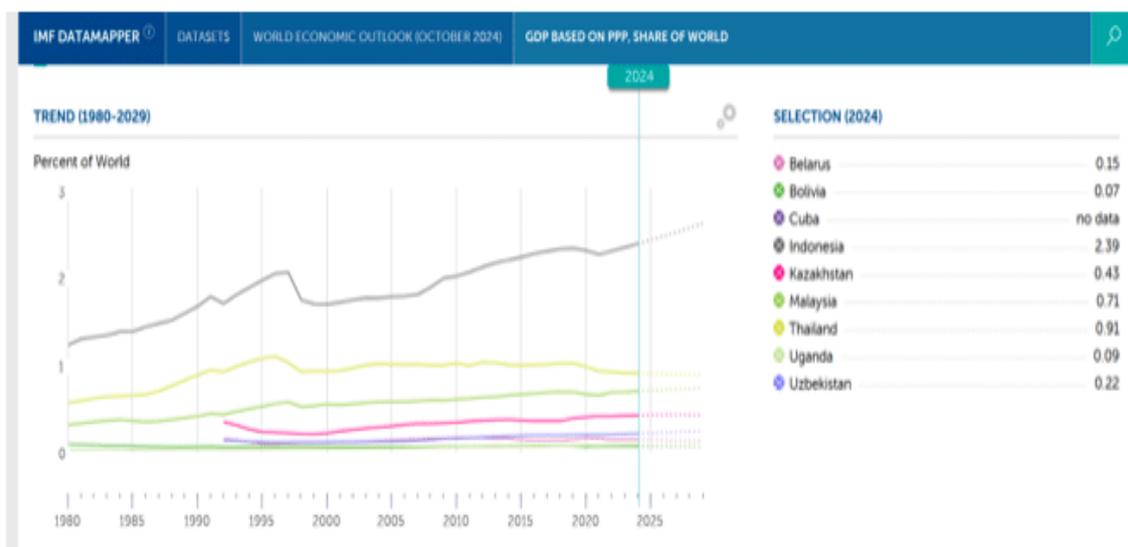
IMF のデータによれば、2024 年 10 月の時点では、BRICS の当初の 5 カ国が世界の GDP（購買力平価）の 33.76%を占め、G7 の 29.08%を上回っている。G7は1990 年には 52%近くをしめていた。

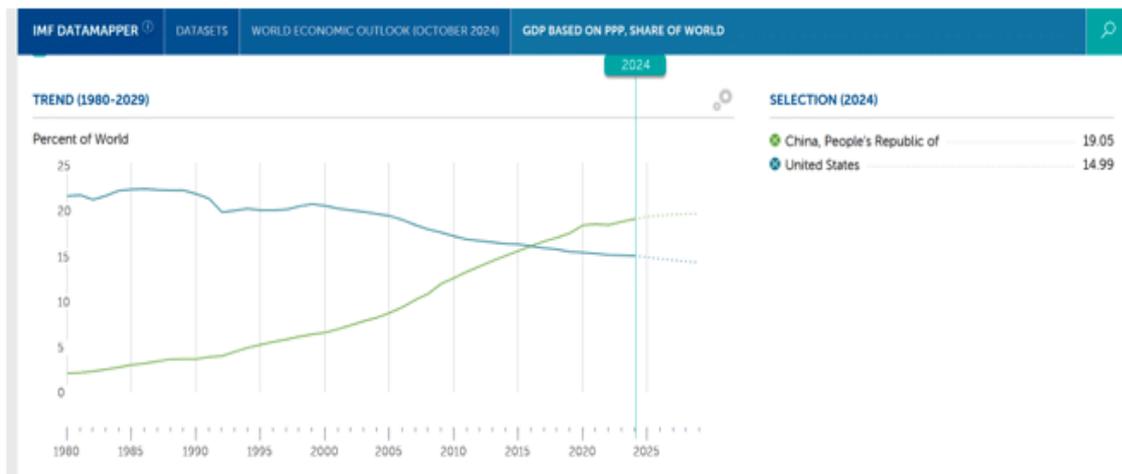
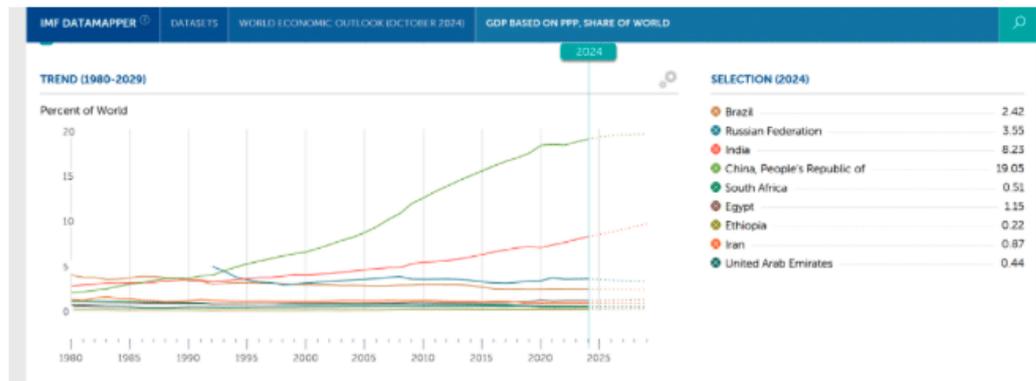


この転換の主な理由は、中国の経済成長が著しいことだ。中国は世界唯一の工業大国となり、世界の製造業総生産の 35%（米国の約 3 倍）を担うようになった。IMF のデータによると、中国は 2016 年に米国を抜いて地球上で最大の

経済大国になった。2024年10月現在、中国は世界のGDP（購買力平価）の19%を占めている。

2024年に新たに加盟した4カ国を加えると、BRICSの9カ国が世界のGDPに占める割合は36.44%に上昇する。さらに新たなパートナー国9カ国が加わると、割合はさらに上昇し、41.41%になる（なお、IMFはキューバの経済データを保有していないため、これにはキューバは含まれていない）。



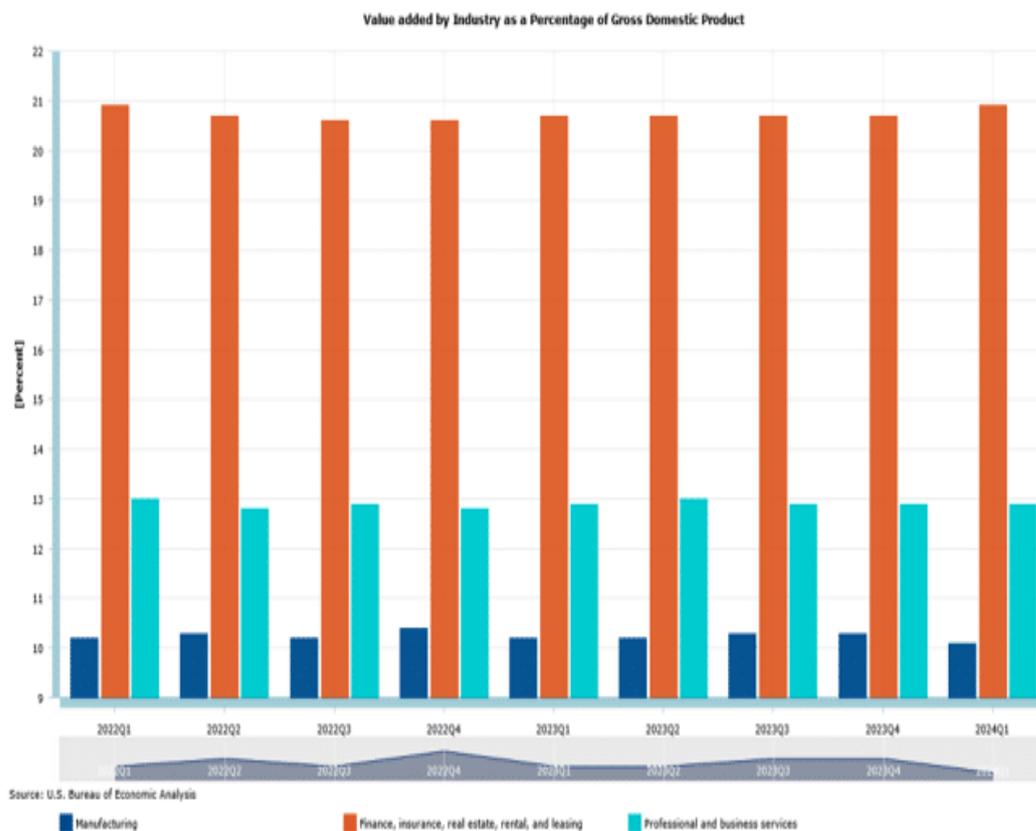


米国の GDP は誇張されている

GDP は、世界経済における一国の影響力を大まかに示すことができるが、その測定には一連の問題がある。 GDP は必ずしも国の生産力を反映しているわけではない。なので GDP の部門別構成を見ることが重要である。

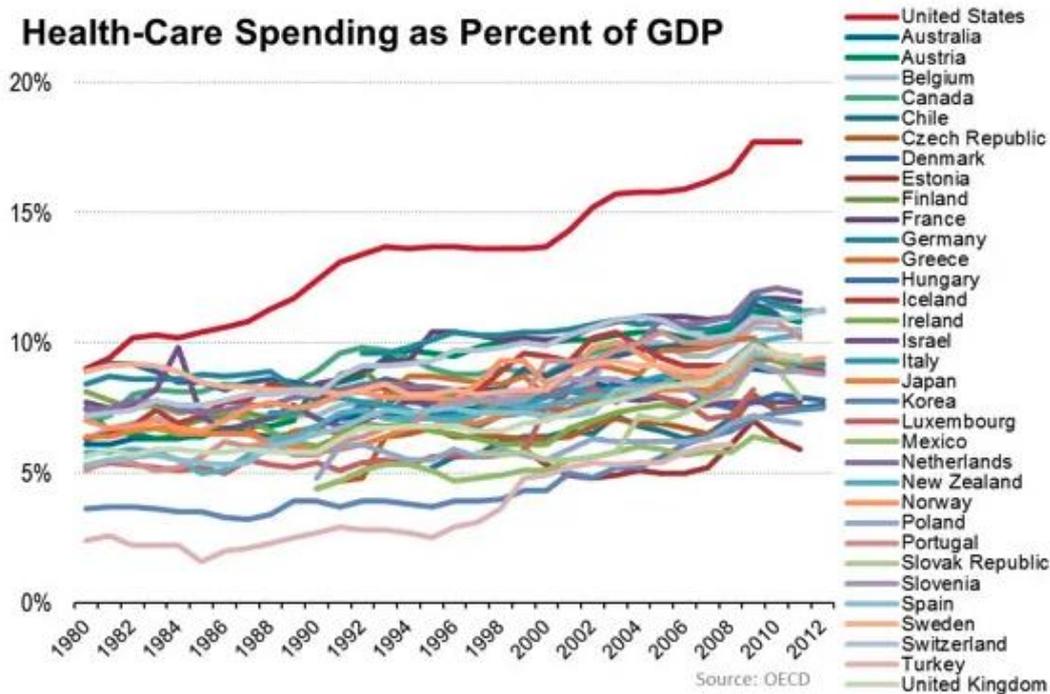
たとえばアメリカでは、GDP の 21% が金融、保険、不動産といった FIRE 部門で占められている。 さらに 13% は、弁護士や管理職などのホワイトカラー

労働者による専門的・ビジネス的サービスである。製造業は米国の GDP の 10%程度しか占めていない。



経済分析局（BEA）が報告する米国 GDP のもう 8%は、持ち家住宅の推定賃貸価値、つまり、家の所有者が仮に自分が所有し住んでいる家を借りるために支払う金額である。つまり、アメリカの GDP の 8%は実際には存在せず、単なる会計上のものである。

さらに、米国 GDP の約 18%は医療部門からきている。米国は、OECD 加盟国の平均的な先進国経済の約 2 倍を医療費に費やしているにもかかわらず、公衆衛生の結果は最悪である。ある国のある分野のサービスがより高価で、その結果 GDP が高いからといって、その国の国民が恩恵を受けるとは限らない。米国の医療制度のケースは、GDP の統計が素晴らしいにもかかわらず、実際には住民が大きな被害を被る可能性があることの明確な例である。



BRICS : 穀物、食肉、石油、ガス、鉱物を生産する商品大国

一国の国民が GDP を食べることはできない。 BRICS の経済力の拡大についてより有益な評価を下すには、BRICS を構成する経済の生産力を見ればよい。

BRICS のメンバーやパートナーは、穀物、食肉、原油、天然ガス、鉄鉱石、銅、ニッケルなどの戦略的鉱物といった重要な商品の生産で世界をリードしている。

国連食糧農業機関（FAO）によれば、世界の農業生産の半分以上を占める世界の主な主要作物は、それぞれサトウキビ、トウモロコシ、コメ、小麦、アブラヤシ、ジャガイモである。

BRICS 諸国は、これらの主要作物の世界生産を独占している。

ブラジル、インド、中国は、世界のサトウキビ生産のおよそ 3 分の 2 を占めている。

中国とブラジルは世界のトウモロコシ生産の 30% 近くを占めている。

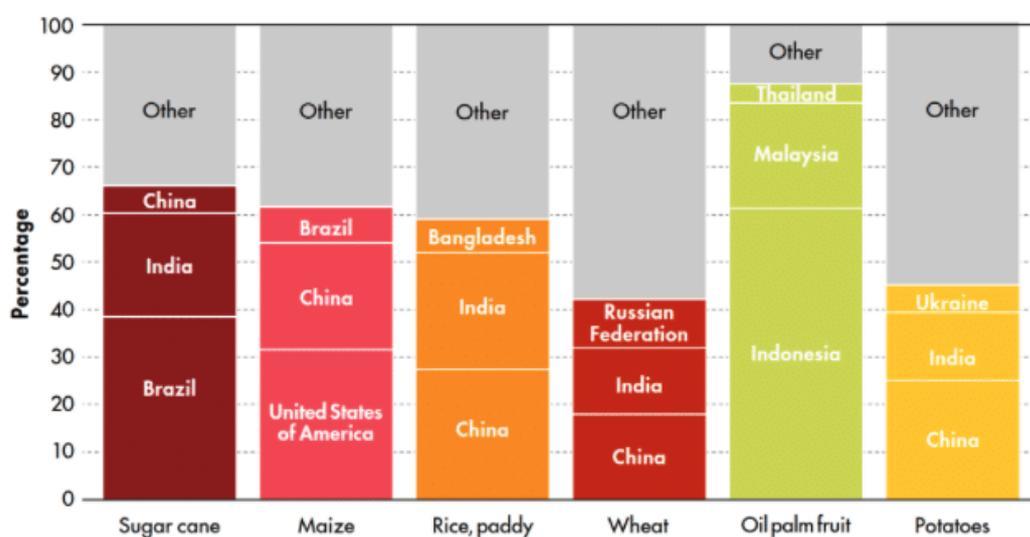
中国とインドは世界のコメの半分以上を生産している。

中国、インド、ロシアは世界の小麦の 40%以上を生産している。

インドネシア、マレーシア、タイ（いずれも BRICS の新たなパートナー）は、世界のアブラヤシ生産量のほぼ 90%を占めている。

中国とインドは世界のジャガイモの 40%近くを生産している。

FIGURE 22.
WORLD PRODUCTION OF MAIN PRIMARY CROPS BY MAIN PRODUCERS (2021)



Source: FAO. 2022. Production: Crops and livestock products. In: FAOSTAT. Rome. [Cited October 2023].
<https://www.fao.org/faostat/en/#data/QCL>
Download: <https://doi.org/10.4060/cc8166en-fig22>

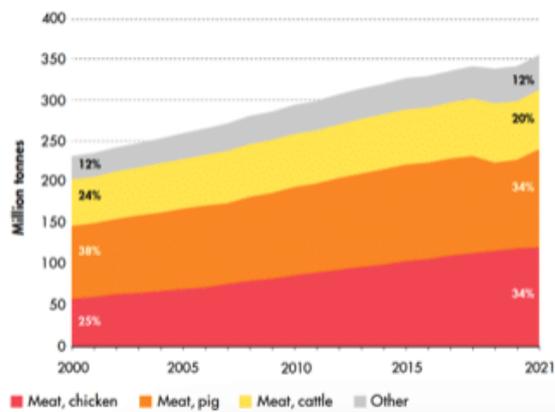
BRICS 諸国も同様に、世界の食肉の多くを生産している。

中国とブラジルは世界の鶏肉生産の 20%以上を占めている。

中国は世界の豚肉の 40%以上を生産している。

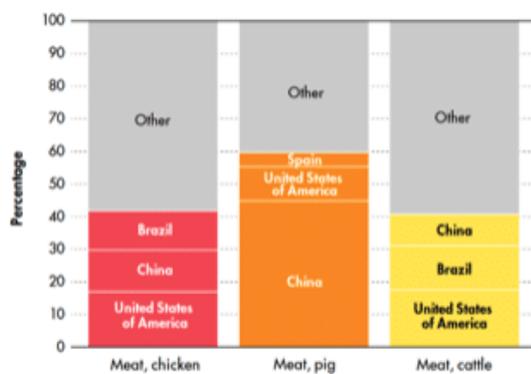
ブラジルと中国は世界の牛肉生産の 20%以上を占めている。

FIGURE 26.
WORLD PRODUCTION OF MEAT, MAIN ITEMS



Note: Percentages on the figure indicate the shares in the total; they may not tally due to rounding.

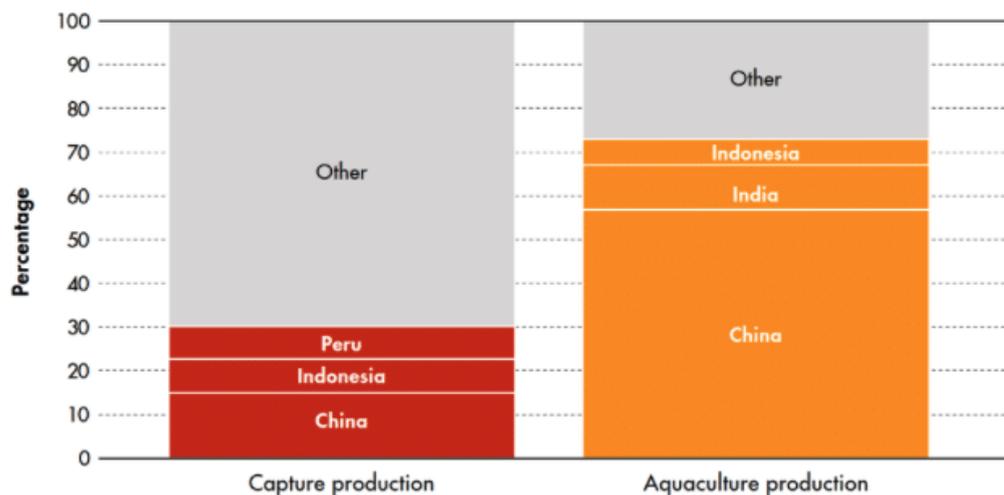
FIGURE 27.
WORLD PRODUCTION OF MAIN MEAT ITEMS, MAIN PRODUCERS (2021)



Source: FAO, 2022. Production: Crops and livestock products. In: FAOSTAT. Rome. [Cited October 2023]. <https://www.fao.org/faostat/en/#data/QL>

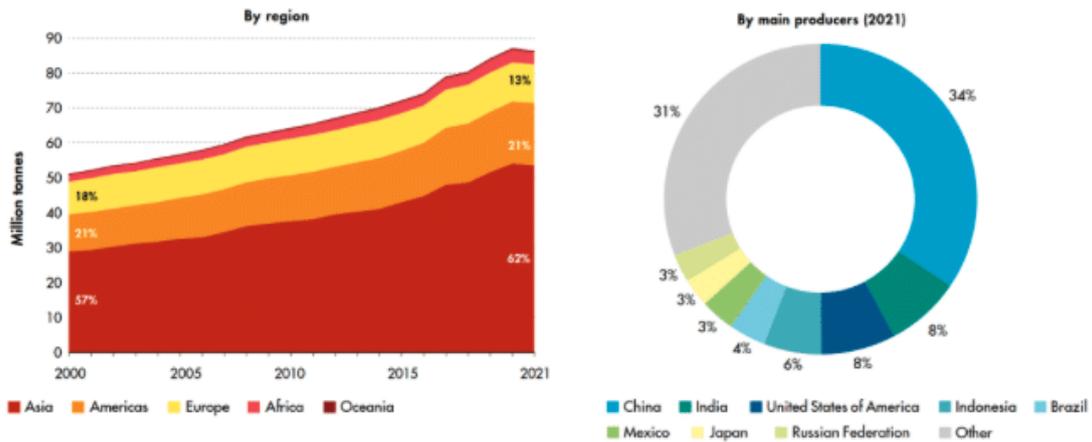
水産物の養殖生産は中国が世界の60%近くを占めている。インド、インドネシアと合わせると70%以上を占める。

FIGURE 32.
WORLD CAPTURE FISHERIES AND AQUACULTURE PRODUCTION BY MAIN PRODUCERS (2021)



BRICS 諸国も同様に、世界の鶏卵生産の半分以上を占めている。中国だけで34%を生産している。

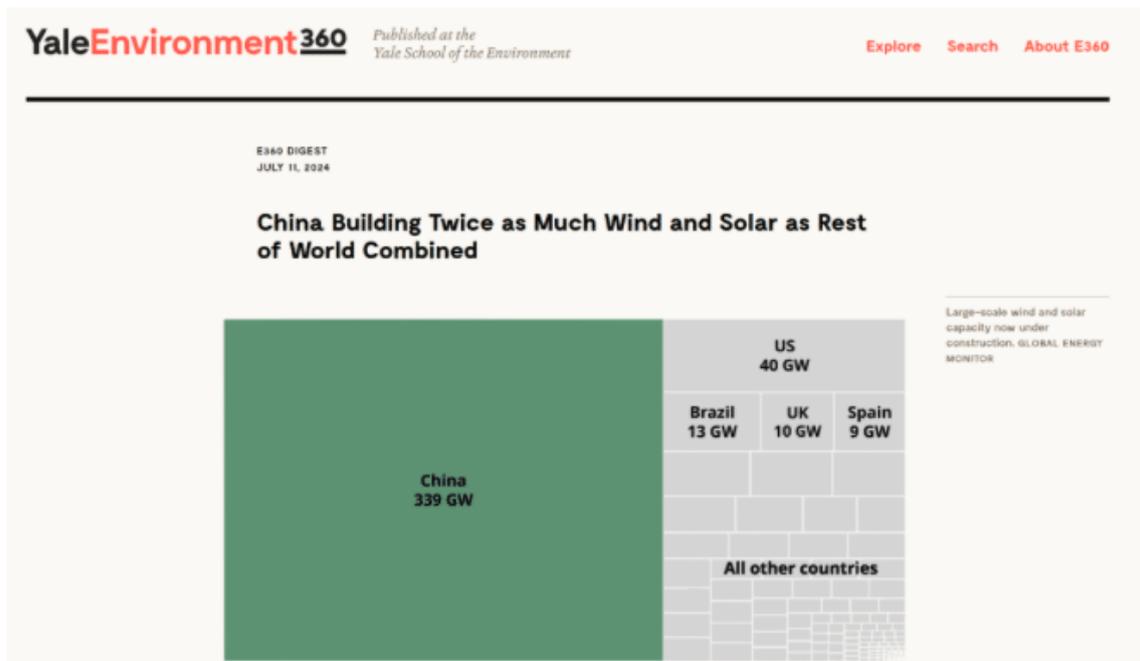
FIGURE 29.
WORLD PRODUCTION OF HEN EGGS



Note: Percentages on the figure indicate the shares in the total; they may not tally due to rounding
 Source: FAO, 2022, Production: Crops and livestock products. In: FAOSTAT, Rome. [Cited October 2023]. <https://www.fao.org/faostat/en/#data/>
 Download: <https://doi.org/10.4060/cc8166en-fig29>

BRICS は今やエネルギー大国でもある。

中国は世界の再生可能エネルギーへの移行をリードしている。中国は、太陽光発電と風力発電の容量を、世界の他の国を合わせた量の2倍建設している。



BRICS 諸国は世界の原油生産でも大きな役割を果たしている。

ロシア（3位）、中国（4位）、イラン（7位）、UAE（8位）、ブラジル（9位）など、世界の原油生産国トップ10のうち5カ国が BRICS である。

#	Country	Yearly Oil Production (Barrels per day)
1	<u>United States</u>	14,837,639,510
2	<u>Saudi Arabia</u>	12,402,761,040
3	Russia	11,262,746,200
4	China	4,905,070,874
5	<u>Canada</u>	4,596,724,820
6	<u>Iraq</u>	4,443,457,393
7	Iran	4,376,194,355
8	United Arab Emirates	3,772,788,273
9	Brazil	3,242,957,836
10	<u>Kuwait</u>	2,990,544,137

BRICS 諸国は世界の天然ガス産業において重要である。

BRICS の天然ガス生産国のトップは、ロシア（2位）、イラン（3位）、中国（8位）、UAE（10位）、インドネシア（11位）、マレーシア（15位）である。（石油とガスの主要生産国であるベネズエラは、当初 BRICS への加盟を提案されたが、2024年にロシアで開催されたサミットでブラジルが拒否権を発動し、国際的なスキャンダルとなった）

#	Country	Yearly Gas Production (MMcf)
1	<u>United States</u>	32,914,647,000
2	Russia	22,728,734,000
3	Iran	9,097,956,245
4	<u>Canada</u>	6,751,698,275
5	<u>Algeria</u>	6,491,744,560
6	<u>Qatar</u>	6,000,936,690
7	<u>Norway</u>	5,763,408,000
8	China	4,559,625,595
9	<u>Saudi Arabia</u>	4,231,796,450
10	United Arab Emirates	3,178,738,465
11	Indonesia	3,143,035,000
12	<u>Nigeria</u>	3,009,650,245
13	<u>Turkmenistan</u>	2,910,379,780
14	<u>Venezuela</u>	2,832,121,740
15	Malaysia	2,762,798,395

戦略的鉱物に関しては、BRICS の影響力はやはり大きい。

BRICS 諸国は、ブラジル（2位）、中国（3位）、インド（4位）、ロシア（5位）、南アフリカ（8位）、カザフスタン（9位）、イラン（10位）など、世界有数の鉄鉱石生産国である。

世界の銅生産に関しては、中国（3位）、ロシア（7位）、インドネシア（9位）、カザフスタン（12位）など、BRICS メンバーも非常に重要である。

インドネシアの加盟は、ロシア（3位）、中国（7位）、ブラジル（8位）、キューバ（9位）といった他の重要なニッケル生産国とともに、世界唯一のニッケル大国が BRICS の一員となったことを意味する。

Ten largest nickel producing countries in 2023

Unit: thousand tonnes per year (kt)

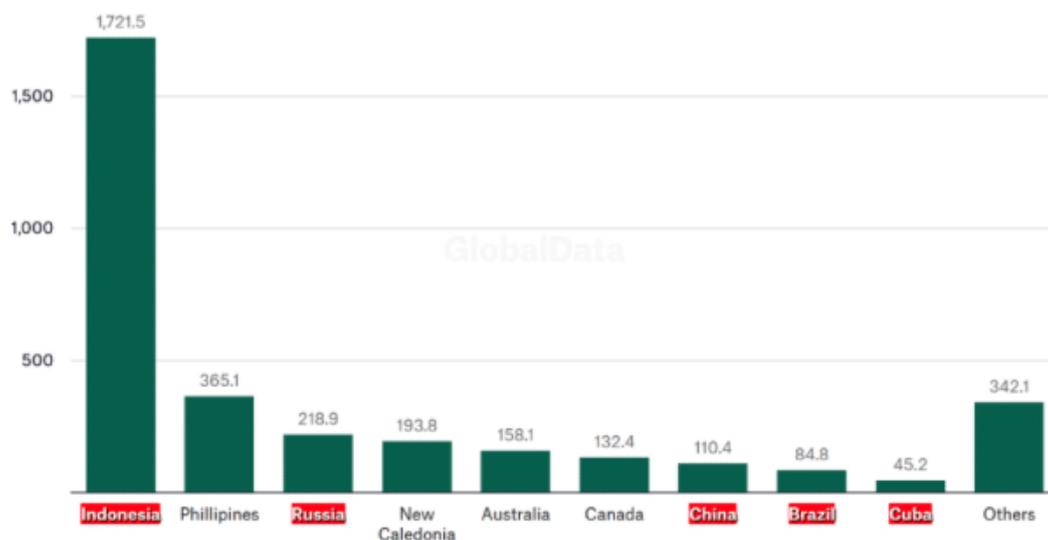


Chart: Smruthi Nadig • Source: GlobalData, US Geological Survey Data

これらの統計が示しているのは、BRICS が地球上で最も重要な組織のひとつとなり、巨大な人口、巨大な経済、驚異的な生産能力を持つ国々が集まっているということだ。

BRICS 諸国がうまく協調し、集団行動を起こすことができれば、世界を変えることができるだろう。

インドネシアが正式加盟

インドネシア政府は今月初め、2023 年の BRICS 首脳会議で決定されていた招待を受け入れ、正式の加盟国となったことを明らかにしました。以下をこれをうけたベン・ノートンの追加解説です。

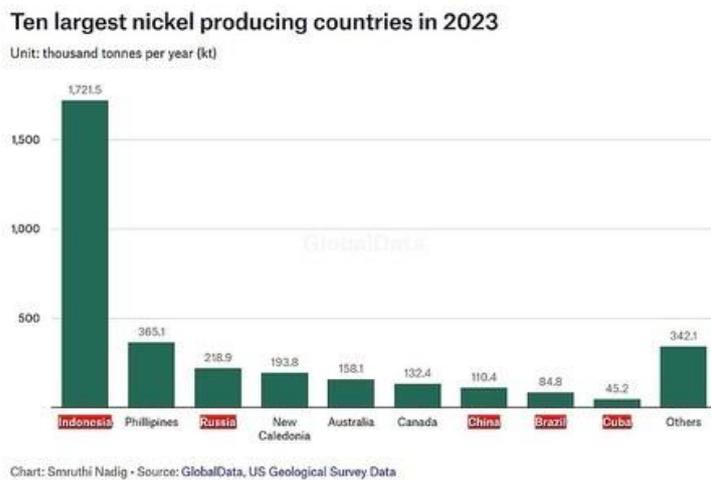
インドネシアの経済規模は、国連安全保障理事会の常任理事国であるイギリスやフランスよりも大きい。世界の GDP（購買力平価）に占めるインドネシアの割合は 2.44%である。これは、イギリスとフランスの 2.2%を凌駕する。



ニッケルは、バッテリーやソーラーパネルなどの再生可能エネルギー技術に必要な重要な鉱物である。インドネシアは、このニッケルの生産量で世界第 1 位である。

過去 10 年間、インドネシア政府は野心的な工業化計画に着手した。それは原料鉱物の輸出を禁止することにあつた。インドネシアは入念な国家計画と産業政策により、単に鉱石を輸出するだけの国から、自国内でニッケルを加工することを通じて、価値生み連鎖を構築した。

それには中国の国有企業からの戦略的投資と、中国の国有銀行からの有利な融資が有効活用された。生産プロセスで、より川上に追加価値を獲得することで、インドネシアは 2013 年に 60 億ドルしかなかったニッケル収入を 5 倍に増やした。



ニッケル関連収入は、原料鉱石を単純輸出するだけだった 2013 年にはわずか 60 億ドルだったのが、国内でニッケル高次加工を展開するようになった 2022 年には、300 億ドルに達した。

ASEAN は米国より中国を選ぶ

中国はインドネシアの最大の貿易相手国である。2022年にはインドネシアの輸出の4分の1近く（22.58%）が中国に輸出された。輸入の28.52%が中国からのものだった。

中国はまた、東南アジア諸国連合（ASEAN）全体でもトップの貿易相手国である。2024年の世論調査によると、ASEAN全体では、どちらかを選ぶとすれば、米国よりも中国との同盟を選ぶという人が50.5%と過半数を割っている。

Southeast Asia's Preferred Ally Switches in Favor of China

"If ASEAN countries were forced to align themselves with one strategic rival, which should they choose?"



* In percent of respondents

Source: The State of Southeast Asia 2024 by the ASEAN Studies Centre



statista

インドネシアでは、国民の 73.2%が中国を支持し、アメリカを支持しているのは 26.8%だけだ。

多くの東南アジア諸国が世界的な脱ドル運動に参加し、BRICS と足並みをそろえている。そして BRICS に加わり、ドル支配に代わる道を求めている。さらに米国が支配する世界金融システムに代わる新たなシステム（決済通貨の日ドル化）を模索している。

2023年のサミットで ASEAN 加盟国は、国境を越えた取引や地域貿易における自国通貨の使用を増やす協定に署名した。

BRICS の目標は、グローバルガバナンスの改革とグローバルサウス間の協力

昨年末にロシアのカザンで開催された BRICS 首脳会議で、包括的な計画が承認された。それは BRICS を中心に国際通貨・金融システムを変革し、かつて植民地化されていた南半球の国々に利益をもたらそうとするものだ。

ブラジルが 2025 年の BRICS 議長国となった。そして、1 月 6 日に、インドネシアの正式加盟を発表した。発表に当たりブラジルは、BRICS の最重要目標が「グローバル・ガバナンス制度の改革」と「グローバル・サウスの協力の深化」であると強調した。

ジャカルタの加盟の方向は、すでに 2023 年のヨハネスブルグ会議（BRICS 南アフリカ総会）で、明らかにされていた。しかしこのとき、インドネシア政府（ジョコ大統領政権）は、2024 年の大統領選挙が終わるまで加盟を延期するよう要請した。

中国外務省は、インドネシアの BRICS 加盟を祝う声明の中で、次のように述べた：

- * BRICS は、グローバル・サウスの連帯と協力を推進する主要な土台であり、グローバルな統合システムの改革をなしとげるための大きな力である。
- * BRICS 諸国は常に多国間主義、公正と正義、そして共通の発展に貢献しようとしている。
- * 今回のインドネシアの BRICS 加盟は、グローバル・サウスの集団的台頭という歴史的な流れに沿ったものである。

インドネシアの反植民地運動における歴史的役割

インドネシアの BRICS 加盟は、1950 年代から 60 年代にかけて同国が反植民地運動で果たした主導的役割を考えると、非常に印象的な事件だ。

インドネシアのスカルノは、反帝国主義の左翼指導者で、1955 年にバンドン会議を主催し、1961 年には非同盟運動の共同の創設者となった。



The founders of the NAM India's Nehru, Ghana's Nkrumah, Egypt's Nasser, Indonesia's Sukarno, and Yugoslavia's Tito

スカルノは 1965 年、CIA の支援による軍事クーデターで打倒された。彼の失脚後、スハルト将軍率いるインドネシアの右派軍事独裁政権は、アメリカ政府の援助を受けて、「政治的大虐殺」として知られる作戦を実行した。

軍事政権は 1965 年から 1966 年にかけて 100 万人から 300 万人の左翼を殺害し、巨大なインドネシア共産党を壊滅させ、社会主義に共感していると目された人物を片端から虐殺した。

ワシントン・ポスト紙は 1990 年にこのことを報じている。「[米政府高官のリストが 60 年代のインドネシアの大虐殺を助けた](#)」と題する記事である。

同紙はこう書いている

元米外交官と CIA 当局者が語るところによれば、25 年前、米当局はインドネシア共産党の数千人の党員の名前をジャカルタの軍に提供した。軍は当時、左翼を追い詰め、今世紀最悪の虐殺のひとつと烙印を押された弾圧で彼らを殺害していた。

世界で 5 番目に人口の多い国であるインドネシアで、トップから村の幹部まで、共産主義者の工作員の包括的なリストを組織的に作成したことを、当局者は認めている。

元米政府高官によれば、5千人もの名前が数カ月にわたってインドネシア軍に提供された。アメリカ人は後に、殺されたり捕らえられたりした者の名前をチェックしていったという。

暗殺は、13,500の島々からなる国で、インドネシア共産党（PKI）を壊滅させた大規模な血の弾圧事件の一部であった。PKIは当時300万人の党員を擁し、ソ連、中国に次ぐ（ベトナム共産党を凌ぐ）世界第3位の共産党であり、労働団体や青年団などの関連組織を通じて、1,700万人の活動家を抱えていた。

（以上、ワシントン・ポストより引用）

【翻訳チェック 鈴木頌】